## 建設論説

たガイドラインを策定し、実態に即した対策の実践に取り組み始めた。業界団体からは「ピンチをチャンスに」変えるため、働き方改革や現場の安全管理の徹底を加速させる動きも出てきた。

として求められる手洗い等の励行、従業員や作業員の健康確保、ICTを活用したテレワークやテレビ会議の実施などは、平時でも継続して行うべき取り組みである。また、これから夏を

イルス感染症対策の基本的対処方針では、「河川や道路などの公物管理、公共工事」を緊急事態宣言中でも事業の継続が求められるものに位置付けた。安全安心に必要な社会基盤を維持

るなど柔軟な対応の試行に着手した。公平性や公正性が保たれるのであれば、地方自治体を含めて受発注者の負担を減らす取り組みを定着させるべきではないか。

「新しい生活様式」に

経済対策が必要で、内需拡大に向けた公共投資による景気回復は有力な手段の一つとなる。

自民党の足立敏之参議院議員は今国会で「日本版ニューディール政策」として、公共投資を

もとより、中長期的な投資効果が期待できる。建設業では反転攻勢に備え、今こそ働き方改革と生産性向上、そして安全管理により一層力を注ぐべきだ。

治水対策の全国展開に向けて、従来の河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能な流域治水への転換を提言する見通しだ。

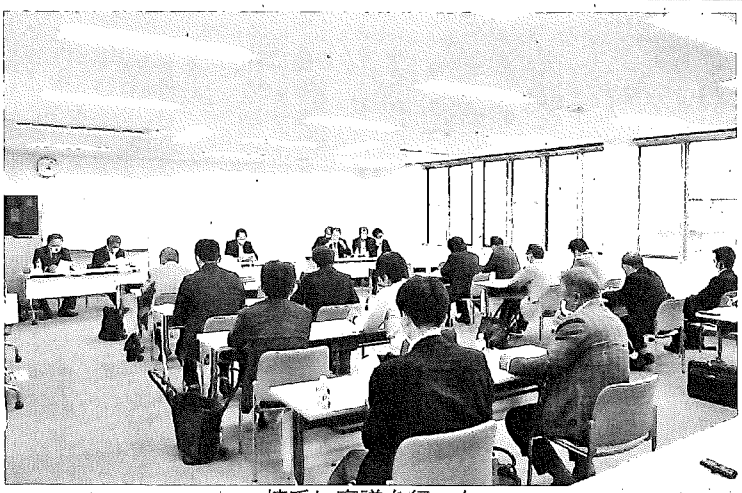
新しい水災害対策の方

## ▽▼県内情報▲△

### 建築士会県事務所協

# 新会長は石井氏に

## 20年度の定時総会開催



慎重に審議を行った

栗原会長

群馬県建築士事務所協会（栗原信幸会長）は26日、2020年度の定時総会を同協会の会議室で行った。役員改選も行われ、石井繁紀氏（石井設計）が新たな会長に就任した。議事では19年度の事業報告、収支決算報告や20年度の事業計画、収支予算の審議などを行い、全議案が承認された。

栗原会長は総会の冒頭、「新型コロナウイルス感染症の影響で例年に比べ、小規模なものとなるが、新役員の改選もあるため慎重な審議をお願いしたい」などとあいさつした。

石井新会長

役員改選後、新たな会長に就任した石井新会長は「各事業者の健全な運営および社会貢献できるような事務所の運営に努めていきたいと思う」と述べた。

このほか新たな副会長としては萩原憲一氏（福島建築設計事務所）、新井春夫氏（新井設計工房）、小林禎氏（北村建築設計事務所）が就任した。

20年度の事業計画では引き続き関係官公庁や関係団体と連携を進め、各種相談事業をはじめとする活動により地域社会の向上と発展に努めていく方針が述べられた。

### 沼田市

# 秋ごろに一般競争

## 運動公園で遊具の更新

沼田市は沼田市運動公園（硯田町626）の遊具更新工事を秋ごろに一般競争入札で公告する。

既存の木製遊具をスチール製に更新するもので当初予算には工事費2090万円を計上している。

工期は約6カ月を見込んでいる。

同市は毎年、老朽化している遊具の更新を行っており、2020年度は3公園4施設での更新を予定していたが、補助金が想定よりも少なかったために1施設となる。

# 販売量は504㎥

## 県森連

## 20日の共販市況

群馬県森林組合連合会は20日に開催した共販市の市況をまとめた。今回の出品量・販売量ともに504・024㎥で落札率は100%だった。入札参加者は25人。

今回の市況について県森連は「杉3・0、4・0m柱・中目材は値下げとなったが売れ行きは好調で完売した。杉4・0m尺上材は前回は無入札も多かったが今回は入札枚数も増え始め完売となった。桧4・0m土台材は値下げとなったが、中m材は値を上げている。入荷量は極端に少なく、特に杉3・0m材、杉4・0m柱・中目材は少ないので少しでも多くの出荷をお願いしたい」と呼び掛けた。

次回の共販日は6月3日を予定している。

# 中央小北通り線

## 6月中旬に指名

### 高崎市

高崎市は常盤町、赤坂町地内で行う市道中央小北通り線の舗装工事を6月中旬に指名通知する。測量設計は直営で実施した。

同線は中央小学校（常盤町48－1）の北側を東西に結ぶ路線。90m区間において、舗装にクラックが生じていることから表層（厚さ4㎝）を剥ぎ取り、約600㎡再舗装する。

## ニュースの

女性現場監督の登用、出産・育児サポート制度の

は女性の方が積極的であるという意見が聞かれ

も、地方都市や小規模な現場では設置されていない

組みが求められるが、建設業界のイメージアップ

これからは従来の取り組み全面展開しつつ、さらに

い」と「働きやすさ」を可能できる環境を、自主